

平成24年1月25日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部県民センター 課税第一グループ	氏名	伊路見 真琴
派遣先 NPO法人名	しまね歴史文化ネットワークもくもく		
<p>① 研修の日時 平成23年8月22日(月)11:00 ~ 11:30 平成23年9月1日(木)13:00 ~ 9月4日(日)13:00</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 派遣先NPO法人が主催する「石見銀山三日籠り」に運営スタッフとして参加した。</p> <p>「石見銀山三日籠り」とは...</p> <p>人文学や考古学、建築学を専攻とする全国の大学生・大学院生を中心に参加者を募り、石見銀山地域への理解を深めることを目的とする講座。</p> <p>一見その価値が分かりにくいとされる石見銀山遺跡に、実際に滞在することによって、環境に配慮し、自然と共生した鉱山運営をしていた石見銀山遺跡の本当の価値について考えてもらう。そして、これらの体験を各々の研究に生かしてもらうことはもとより、参加者からのフィードバックも期待している。</p> <p>平成23年8月22日(月) NPO法人としての活動内容説明、研修内容についての打合せ NPO法人の代表である影山氏から当法人の目的・活動概要を聞き、研修当日のスケジュールなどの詳細の打合せを行った。</p> <p>研修内容は、本講座に運営スタッフとして参加者に随行し、進行・安全管理、各種講座の準備などを担当することとなった。</p> <p>平成23年9月1日(木)～9月4日(日) 運営スタッフ 1日 石見銀山概要講座 2日 遺跡体験・たたら製鉄体験 3日 三瓶山自然学講座 4日 世界遺産講座</p> <p>参加者 : 全国の大学生、大学院生を中心に約20人参加 運営スタッフ: NPO法人2名、インターンシップの学生2名、県研修職員1名 外部スタッフ3名</p>			

③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、NPO活動の意義やNPOとの協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

本研修を受けるまでの私の中のNPOのイメージとして、誰か困っているひとのために活動したり、まちづくりの推進を図ったりするものであったが、当該NPOは「石見銀山地域」の世界遺産としての価値を認識してもらうことに重点が置かれていた。実際に講座に参加してみると、県内からの参加者も多かったが、他県からの参加者が大半を占めており、そのうち本講座に複数回参加されている方も多く、その方たちの石見銀山地域への理解の深さに驚いた。そして、本講座が今後石見銀山地域の文化的意義等を広めていくことのできる人材の育成に繋がっているように感じた。このような取り組みは観光振興だったり、地域振興だったりに直結しないため、なかなか行政の手が行き届かない分野であるように思う。しかし、これからのこの地域の担い手の育成や価値の普及を考えた時にはもちろん必要な分野である。今回は運営スタッフとして講座の運営補助を行ったが、今後行政として、これらの取り組みにどの程度またどのように協働していけるのか、していくべきなのか、まだまだ試行錯誤の段階にあると感じた。



研修期間中は日本列島に台風が直撃し、本講座もフィールドワークなど一部日程等の変更などを余儀なくされたが、石見銀山地域の自然や暮らしを学ぶという観点からは貴重な体験だったよう思う。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)
最後に、大変お忙しい中、本講座に迎え入れて下さり、右も左も分からない私に丁寧な説明・対応をして頂いた影山さんをはじめ関係の皆様にお礼申し上げます。

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)研修期間(7月～3月)中、報告会を開催します。